

新年のご挨拶 2022(令和4)年 新春

明けましておめでとうございます。

2022年を、皆様はどのようにお迎えてでしょうか。

一昨年、昨年と、未曾有の災禍の中、皆様におかれましても大変な日々を過ごしていらっしゃるかと拝察いたします。それも、きつときつともう少しの辛抱です。長かった隧道の先に差し込む光が見えています。私たちの生業である言葉を働かせて、今日、明日、そして明後日と、柔らかに語り合い、しなやかに描き合い、新たな価値と対話を逞しく創って参りましょう。本年も、何卒よろしく願いいたします。

さて、2021年度も、本学会は公益法人の研究団体として、学術研究・教育実践・情報交流活動を展開しています。理念体系に基づき策定された第二次中期計画(2021年3月)に依り、「緩やかな事業整理と資源の集中」を体現すべく、一歩ずつ進めております。

例えば、対外的発信力・広報力強化のために、春季・秋季大会では一般公開プログラムで広く情報発信をしました。また、現在、Webサイトの更新の準備を進めております。次世代の日本語教育を担う人材育成に関しては、キャリアパス・フォーラムの開催が予定されています。研究・実践の質的向上と相互交流の促進を目指して、オンラインによる大会・支部集会等の実施体制について検討しています。2022年以降は、春季大会をオンラインで実施することにしました。また、その他の事業についても、内容に応じてオンラインによる運営を積極的に導入する方針でおります。定例の学会誌の刊行、大会事業、WebサイトやSNSによる広報活動は、着実に実施され、新たなアイデアによる充実も図られています。その他、文化庁の日本語教育人材育成プログラム事業を受託し、全国で研修を開催しております。なお、2022年に予定されていた国際大会(ICJLE)は、再度の延期となりました。次の開催までの間、日本語教育グローバル・ネットワークの連携事業として、オンラインイベントを開催いたします。

こうして本学会が滞りなく事業を運営できておりますのは、各委員会・ワーキンググループ等の委員の皆様のご尽力のおかげです。改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

会員の皆様、本年も、各委員会より、魅力ある活動が企画されております。今後とも、積極的に本学会の活動にご参加くださいますようお願い申し上げます。また、ご自身の研究・実践のご発表や、運営へのお力添えについてもご検討いただきたくお願いいたします。

そして、日本語教育に関心をお持ちの皆様、私ども学会の活動に是非お立ち寄りください。高校生の皆さん、日本語教育を専攻する学生の皆さん、日本語教師を目指している皆さん向けに、バラエティに富む活動を準備しております。気軽に扉をノックしてください。

穏やかな陽ざしのもと、晴れやかな表情の皆様方と、本学会の活動の会場でお目にかかれますことを待ち望みつつ、新年のご挨拶とさせていただきます。

公益社団法人日本語教育学会 会長 齋藤ひろみ